2019年度いのちのセミナー　講師の方々

第１回 2019年６月２日（日） **柳家　花緑**	「第１回いのちのセミナーの詳細について」をご参照ください	
第２回 2019年８月２日（金） **宮田　修** 千葉県熊野神社宮司 元ＮＨＫアナウンサー		1947年千葉県生まれ。元NHKアナウンサー。阪神淡路大震災では、発生直後に第一報を伝える。NHK報道アナウンサーを務めながら神職資格を取得し、2003年に千葉県熊野神社の宮司となる。2008年にNHKを退職した後は、全国で講演活動を展開している。神道には「中今を生きる」という言葉があり、先祖から代々受け継いできた大切な命を次に伝える大切さを訴える。 著書に、『こころを楽にする生き方』（ベストセレクト）など。
第３回 2019年８月23日（金） **大津　秀一** 早期緩和ケア 大津秀一クリニック院長		1976年茨城県生まれ。早期緩和ケア大津秀一クリニック院長。岐阜大学医学部卒業。緩和医療専門医。2005年京都市の日本バプテスト病院ホスピスに勤務。在宅療養支援診療所、大学病院緩和ケアセンター長を経て、2018年に遠隔診療を導入した日本最初の早期からの緩和ケア専業外来クリニックを開設。がん患者3700名以上、終末期患者は2000名以上の緩和ケア経験がある。 著書に、最新刊『１分でも長生きする健康術』（光文社）、25万部のベストセラー『死ぬときに後悔すること25』（新潮文庫）、『大切な人を看取る作法』『傾聴力』（大和書房）など多数。
第４回 2019年９月５日（木） **金菱　清** 災害社会学者 東北学院大学教授		1975年大阪府生まれ。関西学院大学大学院修了。現在は東北学院大学教養学部地域構想学科教授。専門は災害社会学。阪神淡路と東日本と二度大きな震災を経験したことから災害について社会学的に研究。特に石巻にてタクシードライバーが体験した幽霊現象の論考は、国内外問わず着目される。 著書に、編著『呼び覚まされる霊性の震災学―3.11生と死のはざまで』（新曜社）、『私の夢まで、会いに来てくれた』（朝日新聞出版）など。
第５回 2019年９月27日（金） **吉田　実盛** 兵庫県 鶴林寺塔頭 真光院住職 叡山学院教授		1961年兵庫県生まれ。1990年、龍谷大学大学院文学研究科仏教学専攻博士後期課程修了。兵庫大学短期大学部教授を経て、現在は天台宗鶴林寺塔頭真光院住職、鶴林寺宝物館学芸員。叡山学院教授。加古川刑務所宗教教誨師。死後の世界への手引き書として知られる平安時代の書「往生要集」に書かれた生と死をみつめる葬儀や法要を実践している。 執筆に、『播磨の国宝』（神戸新聞総合出版センター）、『わかりやすい仏教保育総論』（チャイルド新社）など。
第６回 2019年10月17日（木） **入江　杏** 世田谷一家殺人事件 被害者遺族 「ミシュカの森」主宰		国際基督教大学卒業。上智大学グリーフケア研究所非常勤講師、世田谷区グリーフサポート検討委員。2000年、世田谷一家殺人事件により、隣地に住む妹一家四人を失う。犯罪被害としての悲しみ・苦しみと向き合い、葛藤の中で「生き直し」をした体験から、「悲しみを生きる力に」をテーマとする講演会等を開催している。また、「ミシュカの森」主宰として、悲しみの発信から再生を模索する人たちのネットワークづくりに努めている。 著書に、『悲しみを生きる力に～被害者遺族からあなたへ』（岩波書店）、など。
第７回 2019年11月８日（金） **沼野　尚美** 宝塚市立病院 緩和ケア病棟 チャプレン・カウンセラー		武庫川女子大学薬学部卒業。　神戸ルーテル神学校修士課程修了。ケンシントン大学大学院行動科学研究科修士課程修了（心理学・カウンセリング修士号取得）。病院薬剤師から病院チャプレンおよびカウンセラーに転職。これまで10箇所のホスピスで勤務し、3,000人以上の方々との生と死に関わってきた。専門はがん患者とその家族の精神的援助と宗教的援助。 著書に、『いのちと家族の絆』（明石書店）、『救いは苦しみの中にある』（明石書店）など。
第８回 2020年３月15日（日） **米良　美一** カウンターテナー歌手		1971年宮崎県生まれ。3万人にひとり程度の割合で発症する難病、先天性骨形成不全症を持ち生まれる。1994年バッハ・コレギウム・ジャパンの定期公演で教会カンタータを歌ってデビュー。洗足学園音楽大学卒業後、1996年よりアムステルダム音楽院に留学。カウンターテナー歌手として世界的にも評価されている。1997年「もののけ姫」の主題歌が大ヒット。第12回日本ゴールドディスク大賞、第21回日本アカデミー賞協会特別賞として主題歌賞をそれぞれ受賞。 著書に、『天使の声～生きながら生まれ変わる』（大和書房）など。

（敬称略）